



この広報紙は、岡山市公立保育園、岡山市立幼稚園、認定こども園、小・中・高等学校の保護者等にお配りする他、各区役所、支所、地域センター、公民館、図書館等の市の関係施設に置いてあります。また、HPでもご覧いただけます。

未来を生きる力を育む 新しい学習指導要領がスタートします！



岡山市教育委員会では、新しい学習指導要領の実施(小学校：2020年度から、中学校：2021年度から)に向けて、知識の理解の質を高め、これからの新しい時代に必要となる力を育む「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業づくりを進めていきます。

学習指導要領って何だろう？

全国どの地域で教育を受けても、一定水準の教育を受けられるように、教科などの目標や大まかな内容を国が定めたものを「学習指導要領」といいます。

月
日
曜日

新学習指導要領のポイント

小学校

- ・小学校3・4年生から「外国語活動」、小学校5・6年生から「外国語科」の実施(2020年度から全面实施)
- ・道徳教育の充実(道徳の教科化は2018年度から全面实施)
- ・伝統や文化に関する教育の充実、体験活動の充実など

中学校

- ・道徳教育の充実(道徳の教科化は2019年度から全面实施)
- ・伝統や文化に関する教育の充実、体験活動の充実など

新しい学習指導要領の全面实施は、校種別で段階的に！

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
小学校 学習指導要領		移行期間	全面実施	
中学校 学習指導要領			移行期間	全面実施

今は、本格的に始まるまでの移行期間だよ。
各学校では、少しずつ準備を始めているんだワン♪

岡山市教育委員会
広報専門官
こらぼん♪



具体的に新しくなることってどんな内容？

各教科でそれぞれ学習する内容が新しくなることもありますが、ここでは外国語教育や道徳教育について紹介します！

外国語教育

小学校3年生以上で外国語教育がはじまるよ！

小学校3・4年生では「聞くこと」「話すこと」について、体験的に理解を深めます。

小学校5・6年生では「聞くこと」「話すこと」に加えて、「読むこと」「書くこと」についても学習します。

区分	2018・2019年度	2020年度～
小学校 3・4年生	外国語活動 15時間以上	外国語活動 35時間
小学校 5・6年生	外国語活動 50時間以上	外国語科 70時間

道徳教育

道徳が「教科」になるよ！

★教科書があります。

教科書を使うことによって、系統的で質の高い教材により、深く学ぶことができます。
地域に関わる教材を併せて活用することもあります。

★「考え、議論する」授業を大切にします。

答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の児童生徒が自分自身の問題と捉え、考えたり、話し合ったりすることで、より考えを深めることができるようにします。

では、実際に勉強している様子を紹介しましょう。中面をご覧ください。

これからの授業、何が変わるの？

外国語教育

コミュニケーションを図る基礎や素地となる
資質・能力の育成を目指して



文部科学省作成
小学校外国語教材「We Can!」

コミュニケーションすることの 楽しさを感じてほしいです。

クイズ形式の授業をはじめ、子どもたちが意欲的に英語を学べるよう工夫を凝らしています。英語でコミュニケーションを図る楽しさや喜びを体感していくなかで、互いを理解することの大切さを知り、人間性豊かな人に成長してほしいです。

岡山市立岡山中央小学校
6年担任
かじはら みちひろ
梶原 道宏 先生

英語で世界の人と
話せると楽しいね!



▲自由に話せる
雰囲気が出ています

What food
do you like?

I like-

小学生の時に、英語にたくさん触れ、英語を楽しんでいると感じられた経験が、英語によるコミュニケーションの力を付けることにつながります。
町にある看板や、お店で売られている品物に、英語で書かれているものをよく見かけませんか。また、身に着けているものや日常的に使っているものにも英語で書かれているものがたくさんあります。

さんあります。何気なく見過ごしていることに立ち止まってどんな意味なんだろうとお家の方と一緒に考えてみることで、子どもたちの外国語に慣れ親しむきっかけを作っていただければと思います。

自分自身の問題と捉え、考えたり、話し合ったりする
道徳教育を目指して

道徳教育



色々な考え方が
あることが
わかるんだワン!

お互いの意見を受け止め、 認め合いながら、考えを深めています。

授業での発問を工夫し、役割演技などを取り入れることで、ねらいに応じて自分の言葉で語れるよう導いています。そこで出てくる多様な意見を受け止め、立ち止まって考えることも大切にしています。

岡山市立旭竜小学校
1年担任
よしなが なお
吉永 奈央 先生



小学校の道徳科の目標には、「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習」を通して、「道徳性」を養うことが示されています。
今後出会うであろう様々な場面、状況の中で適切な行為を主体的に選択し、実践することができるよう、道徳科の授業を進めていきます。

豊かな心を育むためには、学校だけでなく、家庭や地域の協力は欠かせません。また、基本的なルールやマナーなど規範意識を高めるためには、学校、家庭、地域を通じてきちんと教えていくことが大切です。大人の経験をもとに答えを一方的に押しつけるのではなく、子どもたちがどうすればいいだろうと考える時間を「家庭でももっていただければ」と願っています。

▲人の意見を
真剣に聞きます



私は
こう思ったんだ!



新学習指導要領で大切にしている
「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業を目指して

授業改善

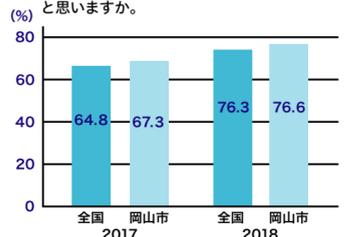
岡山市の子どもたちは、
学びを深めるための
話し合い活動を大切にしています!

全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙によると、日々の授業の中で、自分の考えを深めたり、広げたりするための話し合い活動を大切にしようとする児童生徒が増えてきています。

目的意識をもって話し合い活動に臨むことによって、他の人と協働して課題を解決したり、様々な変化に対応できる思考力や判断力、表現力を身に付けることができます。

【中学校】

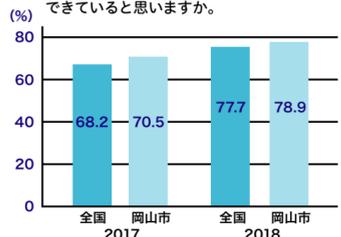
生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いませんか。



出典：平成29・30年度全国学力・学習状況調査
生徒質問紙より（アンケートで肯定的な回答をした人の割合）

【小学校】

学級の友達と間話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いませんか。



出典：平成29・30年度全国学力・学習状況調査
児童質問紙より（アンケートで肯定的な回答をした人の割合）



こうやると
わかりやすいよ!

グループで意見を
出し合って考えます

生徒同士が互いに学び合い、 社会を生き抜く力を自ら育んでいきます。

主体的・対話的な授業には、生徒が間違いを恐れず発言できる「支持的風土」が大切。様々な個性をもった生徒一人一人に居場所があり、しっかり意見を述べられる環境だからこそ、深く学び合えると考えます。

岡山市立福南中学校 数学担当
くさかべ かつゆき
日下部 克之 先生

子どもたちの自発的な疑問を大切に、 学習意欲につなげていきます。

授業では子どもの「なぜ」という疑問を引き出し、課題に興味をもたせることから始めています。友達との自由な話し合いや自分の考えをまとめたノートの見せ合いなどを通して、「対話ができるクラス」を目指しています。

岡山市立芳明小学校 4年担任
しらいし なおこ
白石 尚子 先生

岡山市教育委員会では、2014年度から、子どもたちが授業を通して「力がついた!」と実感できるような授業づくりを目指しています。そうした授業づくりを行う際のスタンダードとして、岡山市立すべての学校の統一した取組「授業これだけ!」は!」をもとに、子どもたちの学力の定着を図るためのよりよい授業づくりに取り組んでいます。この取組では、子どもたちがその日の授業で学ぼうとする「めあて(学習目標)」を設定し、授業の後半では、何を学習し

たか、何が身に付いたかなど確認できるように「めあて」に対応した「まとめ」を行います。さらに、学習したこと「まとめ」を深まるものにするために、自分でしっかり考えたり、考えたことを表現したりする場面をバランスよく取り入れるようにしています。
このような岡山市の取組は、新しい学習指導要領で目指している主体的・対話的で深い学びに結びつくものと考えています。

主体的・対話的で深い学びの実現を目指す
岡山市立すべての学校の統一した取組

「授業これだけ!」

岡山県立すべての学校の統一した取組
授業これだけ!

児童生徒の学力の定着を図るには、
どうすればよいのでしょうか?

児童生徒が「力がついた!」と実感できるよ
うにすることが大切です。
学校全体で「授業これだけ!」に取り組
みましょう。

◆授業の基本

「めあて」を示す(児童生徒が自ら学びたいと思えるめあてを設定)

「めあて」に対応した「まとめ」を行う
(児童生徒が自らの言葉で「めあて」ができる場の設定)

◆バランスよく授業に取り入れる

児童生徒が自分で考え、表現する場を設定する
(他者の考えを聞き、自分の考えがより深まる場面の設定)

岡山市全体で児童生徒の学力の定着を図る

岡山市教育委員会事務局学校教育指導課(平成30年4月)

子どもの成長をつなぐ就学前教育と学校教育



就学前教育では、2017年に幼児教育・保育の基準となる「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が改訂され、今年度からこれらをもとに就学前教育を進めています。

幼稚園・保育園・認定こども園においても、小学校との円滑な接続が図られるよう、生涯にわたる生きる力の基礎を培うための就学前教育が重要視されています。

小学校	小学校中学年	教科等の特質に応じた学びにつなげます。										
	小学校低学年	国語	算数	社会	総合的な学習の時間	理科	音楽	図画工作	体育	道徳	特別活動	
幼稚園・保育園・認定こども園	健康な心と体				★					★	★	★
	自立心				★						★	★
	協同性				★						★	★
	道徳性・規範意識の芽生え				★					★	★	★
	社会生活との関わり				★						★	★
	思考力の芽生え	★	★		★			★	★	★	★	★
	自然との関わり・生命尊重				★						★	★
	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	★	★									
	言葉による伝え合い	★			★							
	豊かな感性と表現				★			★	★	★		

※ ★マークは、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の項目と小学校教育との関連が大きいものを示しています。
 (参考) 文部科学省、2017、改訂幼稚園教育要領中央説明会資料

就学前教育では、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を見据えて、子ども一人一人の得意なところや更に伸ばしたいところを捉えながら、小学校での各教科等の特質に応じた学びにつなぐ保育を大切にしています。ただし、就学前教育の場で、小学校での学習内容を前倒しで行うことではありません。

小学校に入学する子どもたちは、学びがゼロからスタートするわけではありません。子ども一人一人、就学前教育で身に付けたことを生かすことが、小学校からの教科などの学習につながっています。

子どもたちは様々な活動や体験を通じて、大人なら見過ごしそうなことの中でも、新たな発見をしたり、物事に興味・関心をもったりすることがあります。そのような場面に出会った時に、大人が少し立ち止まって子どもと同じ目線に立った関わりを大切にいただければと思います。

子どもたちの
見方や考え方が
さらに広がるんだワン♪



成長段階に合わせた遊びを通して 将来の学びにつながる土台作りを

友達や先生に、自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりする機会をつくり、人と関わる力が身に付くようにしています。また、不思議だと感じたことや興味をもったことに自ら働きかけて、試行錯誤したり発見したりする経験を大切に、学ぶ意欲へつなげたいと考えています。

皆さんの意見を
聞いてみたいんだワン♪



応募方法

郵便番号、住所、氏名、年齢(または学年)を明記の上、下記のあて先へご応募ください。

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1
はがき・封書 岡山市教育委員会事務局
教育総務部教育企画総務課 行

F A X 086-234-4141

Eメール korabo@city.okayama.lg.jp

応募締切 平成31年2月28日(木)

※ お寄せいただいた個人情報は、業務目的以外には使用しません。当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。



うんどうかいのときより
うまくなるかな。

みんないっしょに、
せ〜の!



じしゃくをつかったら
くるまがトンネルをとれるよ。

岡山市立竜之口幼稚園
ないとう れいこ
年長担任 内藤 玲子先生



こらぼ

ご意見・ご感想をお聞かせください。

今回の特集に興味をもってお読みいただいた記事やその理由などを今後取り上げて欲しいテーマと共にお寄せください。抽選で図書カード1,000円分を5名の方にプレゼントします。

こらぼVOL11に
寄せられた
ご意見・ご感想

前回のテーマ
部活動を通して
成長する子どもたち

部活動ということで興味深く読ませていただきました。写真やコメントが多く、中学校で部活動を頑張っている様子や部活動の良さが分かってとても良かったです。先生方は放課後や休みの日まで部活動の指導に充てたり、聞いた話では経験のない競技を指導したりすることもあるとのこと・・・先生方の熱意に頭が下がります。ぜひ子どもには部活動を体験してもらいたいです。

私も吹奏楽部でかけがえのない友達や泣いたり笑ったりした思い出、先生からの人生の教えを得ることが出来ました。卒業後30年経った今でも、心の支えとなっています。時にはつらいこともあると思いますが、今しか出来ない部活動、頑張ってください!

部活動指導員さんの存在を初めて知りました。どの先生も多忙すぎて、本当に大変な毎日だと思います。教育に夢をもって努力された志の高い方ばかりだと思います。先生の重い負担を分担していく未来にしてほしいです。毎日先生が心身ともに健康で指導してくださったら、子どもたちも必ず伸びます。

来年中学生になるのですが、中学校について知らないことが多いです。今回、部活動のこと、中学生や先生たちのコメントなどが載っていて、すごく参考になりました。部活動から学ぶことも多いと分かったので、どんな部活に入ろうかと今から楽しみにになりました。

部活動を通して成長する子どもたち、先生方のインタビューを読みました。強い精神力、地域への貢献、思いやりなど、どんな風にもそこの気持ちに辿り着いた日々を送られているのを知り、自分の子育てにも意識して活かしていきます。とても勉強になりました。

